

気賀小学校だより

<令和4年度>
No. 1
浜松市立
気賀小学校



令和4年度、150年目のスタートです

校長 齊藤 昌長

4月6日（水）、気賀小学校の1年がスタートしました。今年は、86人の新1年生が入学し、気賀小学校の子供たちは514人の仲間になりました。

令和4年度は、気賀小学校が創立されて150年目の記念すべき年になります。これまでの歴史の中で培われた「気賀小らしさ」に、これから子供たちが生きる上で必要な力を考えながら新しい気賀小教育をつくっていきたいと思います。「不確実性の時代」「ウィズコロナの時代」の中で、教職員は気賀小学校の子供たちを育てるために、一生懸命に考え、修正をしながら実践をしまいにいます。是非、保護者の方々、地域の方々も温かい目で、気賀小学校の子供たち、教職員を支えていただきたいと思います。

始業式の話から

今年は、気賀小学校ができて150年目になります。長い歴史の中で、大きく変わるところがあります。

○成績二期制のスタート

それは、成績を前期と後期の2回にすることです。これまでは、1学期、2学期、3学期と夏休み、冬休み、春休みの前に3回もらっていました。しかし、皆さんは分かると思いますが、成績を付けるために、特別日課で6時間目をカットしたり、4時間授業をしたりして、いつものペースで勉強ができない期間が年に3回ありました。それを2回にすることで、長い休みの前でもじっくりと学校生活を送ることができるようにしました。

○ステージ制の実施

そして、ステージを4つ作ってそれぞれのステージに学校行事を入れて、めあてをもって取り組んでいきます。

4月と5月は「スタート」。運動会に向けて学級を作っていくステージになります。新しいクラスのスタートです。みんなで協力する。競い合う。そういった体験をして、まとまりのある学級にしてほしいです。

6月から9月は「チャレンジ」。5年生は宿泊体験活動、今年是三ヶ日青年の家で行います。そして、新体力テスト。さらに部活動もあります。自分の限界を決めずに、めあてに向かってチャレンジしてほしいと思います。一人一人が伸びていくステージです。

10月から12月は「チェンジ」。ここから後期が始まります。6年生は修学旅行、2年生から5年生は校外学習が行われます。持久走大会も行われます。スタートでつくった学級としてのまとまり、チェンジで伸ばした「自分らしさ」を学校の中だけでなく外で見せてほしいと思います。

そして、1月から3月は「ステップアップ」。学習発表会や6年生を送る会、6年生は小学校の集大成、卒業式が行われます。皆さんが1年間育ててきた気賀小らしさを発揮して、次の年の0学期になるように、ステップアップしてほしいと思っています。

新しい気賀小学校を皆さんと先生方、保護者、地域の方々と一緒に創っていきましょう。